

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	第3回西脇市総合計画審議会
開催日時	令和6年1月24日（水） 午後1時30分から午後3時30分まで
開催場所	西脇市役所 大会議室
出席委員の 氏名又は人数	16名
欠席委員の 氏名又は人数	2名
出席職員の職・ 氏名又は人数	事務局7名・関係課5名
公開・非公開 の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	5名
議題又は 協議事項	1 アンケート調査結果等について 2 前期基本計画の効果検証について 3 外部評価の試行実施について 4 その他
会議の記録（概要）	
発言者	<p><開会></p> <p>（資料確認）</p> <p>（会議成立の報告）</p> <p>1 会長あいさつ 本日は駐車場が混んでいて、駐車場所の確保が少し大変であったが、人の往来がたくさんあった。このように賑わいを感じられることが多くあると良いと思う。 本日の議事は3件ある。上手に時間配分をしながら審議したい。御協力をお願いする。</p>
事務局	
会長	

	<p>2-1 アンケート調査結果等について</p>
事務局	<p>資料1、資料2、資料3に基づき、事務局から説明</p>
副会長	<p>色々な項目で嬉しい結果となっていたように思う。特に高校生アンケートの結果で、将来の定住意向についての質問では、前回のアンケート調査結果に比べ定住意向を示した割合が増加していた。前回の総合計画から携わっている身として嬉しく思う。</p>
会長	<p>子どもたちが、将来的に「結婚したい」「子どもがほしい」といった、夢や希望を持つことができない傾向が、全国的に強いのかなという印象を受けた。私を含め、親世代が必死に子育てをしてきたのが、苦しそうに見え、それが負のスパイラルになっているのかもしれないとも思っている。</p> <p>子育てが「こんなにも素晴らしいこと」と思ってもらえるような取組が進むことで、西脇市に住み、西脇市で子育てしたいと思ってもらえると良いと思う。これから、ますます子どもたちを大切にしないといけないと感じている。</p>
	<p>2-2 前期基本計画の効果検証について</p>
事務局	<p>資料4に基づき、事務局から説明</p>
委員	<p>前期基本計画の効果検証ということであったが、後期基本計画も同じ政策・施策の体系で進めるのか。</p> <p>政策と施策の関係は、政策を実現するための施策、その下に事業があると認識している。</p> <p>例えば、資料4の防災分野で「防災基盤を整備する」という政策があるが、政策の評価がCとなっている一方で、その政策を実現するための各施策は全てA評価となっている。ここにアンマッチが出ていると思う。</p> <p>後期基本計画において、政策指標を見直すのか、政策に対する施策が合っているのか、施策指標の結果を踏まえて政策指標をせめてBにするのか、何かしらの検討が必要ではないか。</p>

事務局	<p>政策体系については、現在関心が集まっているデジタル活用など、社会的なトレンドや新たに生じた社会課題等を踏まえて今後検討し、新しい政策や施策体系をお示していきたい。</p> <p>また、政策と施策の関係であるが、各施策をしっかりと進めたとしても、その時々社会潮流によっては、政策的な成果につながらないということもあると考えている。政策を的確に評価できる指標を設定できることが望ましく、前期基本計画策定時も検討したが、現実的に難しい部分もある。引き続き望ましい政策指標、評価の在り方を検討していきたい。</p>
副会長	<p>資料中にカタカナ表記の言葉が多く出てくる。この資料がこの会議の中だけのものであれば良いが、もし広く多くの方が見られる資料なのであれば、もう少し分かりやすい言葉で作成していただく必要があると思う。</p>
事務局	<p>現在の総合計画策定時も、市民の皆様に読みやすくしたいという思いで、「である調」を「ですます調」に変えるといったことに取り組んだが、今回の効果検証は内部で実施したこともあり、専門用語やカタカナ表記の言葉が多かったように思う。皆様に分かっていただける資料作りを心掛けていきたい。</p>
会長	<p>基本計画の評価を非常に詳細にされていると感じた。現実として、全ての政策に同じレベルでお金を投じていくのは難しく、優先順位をつける必要がある。</p> <p>政策の優先付けには、短所を補う、長所を伸ばす、社会的な流れを踏まえて施策を抑制する、など色々な考え方が出てくると思う。今後、この施策をどのようにしていくかという点で、せつかく取ったアンケート調査の結果を反映し、根拠を示していくことも大切だと思う。</p> <p>また、詳細な評価をしている分、資料が膨大になっており、全体的な考え方の整理や力を入れる領域などを分かりやすく示せると理解しやすいと思う。</p>

	2-3 外部評価の試行実施について
事務局	資料5に基づき、事務局から説明 (質問等なし)
担当課	(1) 農と食の魅力づくり事業 (担当課から説明)
副会長	「1次評価における評価ポイントの選択理由」の資料で「事業の優先度」と「事業の必要性」の項目があり、内容を読むと優先度がある程度高く、必要性もあるように記載されている。一方で、優先度は4、必要性は2、と評価の数字が異なっており、それぞれの項目における評価の数字をどのように捉えたらよいか。
事務局	「1次評価における評価ポイントの選択理由」の資料の評価基準は、「1次評価における基準等の説明」の資料に記載している。数字の高低は、各項目で独立しており、他の項目とは連動していない。少々分かりにくい部分があるが、御理解いただきたい。
副会長	事業の対象が東京農業大学等の学生とのことであるが、他の大学もあるのか。
担当課	東京農業大学以外では、吉備国際大学からも研修生を受け入れている。2つの大学には醸造系の学科がある。酒蔵で受け入れていることもあり、将来、酒造りに直接かかわっていく可能性の高い学生を受け入れている。
会長	大学との連携は、酒蔵が大学に呼びかけて参加となったのか、行政が大学と酒蔵をマッチングしたのか。
担当課	東京農業大学醸造科学科の先生が兵庫県出身だという縁から、酒蔵とともに大学に出向いて事業実施を打診した。吉備国際大学にも直接伺い、学生を受け入れることになったという経緯である。

会 長	<p>「1次評価における評価ポイントの選択理由」の資料については、市の担当課の評価で、それを参考に委員が自身の判断で評価を実施すればよいのか。</p>
委 員	<p>例えば、「1次評価における評価ポイントの選択理由」の資料にある「事業の必要性」の項目は、「1次評価における基準等の説明」の資料の5項目から1つを選ばれていると認識している。一方で、委員が実施する「事業評価シート」の「必要性」は、必要性が高い事業かどうかを評価することになるのか。</p>
事務局	<p>担当課の1次評価は「1次評価における基準等の説明」の資料の5項目から選択しており、必ずしも優先度の高低を示すものではない。</p> <p>委員に実施いただく外部評価では、「外部評価シート」の上部に記載の6項目から選択いただくため、担当課の評価基準とは一致していないが、主観的に率直な御意見をいただきたいと思う。今まで内部のみで評価を実施してきたが、外部評価に当たってより分かりやすくなるよう作成した。基準等が一致しておらず、理解しにくい部分があり、反省している。</p> <p>「外部評価シート」中段の総合評価についても同様に、主観的に選択いただきたいと思う。</p> <p>また、自由意見欄についても、事業について思われたことを率直に書いていただきたいと思う。</p> <p>記載いただいた内容を参考に、事務局で事業の判断材料とさせていただきますと思う。</p>
副会長	<p>1次評価と外部評価で扱う数字が異なる点は理解した。</p> <p>「農と食の魅力づくり事業」の1次評価では、「事業の優先度」が「今後しばらくの間、継続して実施する必要がある」で、「事業の必要性」は「豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである」から、と連動していると思うがどうか。</p>
事務局	<p>連動するところと連動しないところがある。</p>
委 員	<p>「農と食の魅力づくり事業」は、山田錦の生産や酒蔵など「酒」に関するものと、イチゴ等「特産品」に関するもの</p>

	<p>のが含まれている。個人的にイチゴの取組はよく知っているが、「酒」はそこまで詳しくないため、「酒」と「特産品」を同じレベルで評価できるのか、どのように扱えば良いのか不安がある。</p> <p>イチゴの栽培でも、農大生を受け入れており、学生との関わりがあるものの、酒蔵で受け入れている学生とイチゴの栽培で受け入れている学生では目指す方向なども異なるのではないか。</p>
事務局	<p>全体を評価いただいた上で、自由意見欄を御活用いただきたいと思う。全体の評価が難しい場合は、事業評価シートを2枚お渡しした上で、分けて評価いただくといった方法もある。</p>
会長	<p>事業を細分化すると複雑になり負担も重くなるので、平均化して評価した上で、自由意見欄に「この評価は高いが、この評価は低いと思う」と注記いただくのが良いと思う。</p> <p>他の委員の皆様はいかがか。</p>
副会長	<p>事業評価シートは分けず、何かあれば自由意見欄に記載するのが良いと思う。</p>
副会長	<p>同意見である。</p>
事務局	<p>今回は試行ということで、この様式で、1事業に1枚で実施させていただければと思う。いただいた御意見は今後の参考にさせていただきたい。</p>
	<p>(2) 中間支援事業</p>
担当課	<p>(担当課から説明)</p>
委員	<p>コーディネーターが実際にやっている事業として、セミナーと記載があるが、その他の取組は。</p>
担当課	<p>セミナーの他には、起業に関することや団体の運営に関すること、補助金申請の支援、ボランティアのやり方の支援といったものがある。</p>

<p>会 長</p>	<p>中間支援の重要性はよく言われている。一時期NPO法人がとても流行ったが、多くが活動を停止してしまった。中間支援がどのようなサポートをするのがよいのか、他の団体の事例など、知見があれば御紹介いただきたい。</p>
<p>担当課</p>	<p>どういった支援がよいのかは団体や自治体によっても異なってくるので難しいが、近隣の自治体では、地域自治組織を主軸に支援を行っているところがあり、阪神間では市民活動を主軸に支援しているところがある。どちらも官民協働でまちづくりを進めるといふ目的は同じであり、それぞれの地域の課題にあった活動に対する支援が求められていると思う。</p> <p>なお、西脇市では、地域自治組織と市民活動の両方を支援している。</p>
<p>会 長</p>	<p>これまでもNPO法人の活動はあったが、NPO法人の活動を支援するNPO法人のようなものが、中間支援として活動されているという理解でよいか。</p>
<p>担当課</p>	<p>その通りである。具体的な例はあまり多くないが、既に活動されている自治協議会が、新しい課題として、例えば地域の障害者など、交通手段がない方の送迎を支援する事業を立ち上げる際にNPO法人化され、その際のNPO法人立上げの支援を行ったといったことがある。</p>
<p>会 長</p>	<p>地域で活動されるNPO法人などが、うまく補助金を活用できるように申請書の書き方を明示したり、様々な手続きの支援をしたりといった活動をしていると理解した。</p>
<p>副会長</p>	<p>「当初予算事業の概要説明書」の裏面に成果指標として「NPO法人等の設立件数」とある。NPO法人が前面に出ているが、例えば、実際には起業への支援や、NPO法人以外にも選択肢となる法人がある。指標の名称に問題はないのか。新たな指標の検討も必要ではないか。</p>
<p>担当課</p>	<p>事業の内容も見ながら今後検討していく。</p>

	(3) 企業連携型奨学金返還サポート事業 社会福祉法人等就業者確保支援事業
担当課	(担当課から説明)
委員	この奨学金の返還支援制度を利用されている企業がとても少ないように思うが、市内の対象企業数や、利用件数が少ない理由を教えてください。
担当課	まず、市内の対象企業数については、企業内で従業員向け支給制度を設けていることが要件であるが、制度導入の調査を実施していないため把握できていない。 利用件数が少ない理由については、そもそも市内事業者で従業員の奨学金返還の支援制度を設けているところが多くないこと、そういった制度を設けると県や市の返還サポート事業を活用できるということの周知が不足していること、の2つが考えられる。 市のホームページや広報紙のほか、商工会議所や関係団体を通じた周知に力を入れているところである。また、関心のある企業に対しては個別相談にも応じている状況である。
委員	新卒の若い人だけでなく同じ年代の人にも、このまちに帰ってきてもらい、一緒にまちを盛り上げていきたいという思いがある。 こういった制度があると、新規雇用の際にも魅力となるため、他にも考えてもらえると嬉しく思う。
会長	この制度はいつからスタートしたのか。また、県全体での程度この制度が活用されているか把握していたら教えてほしい。
担当課	県の制度は平成29年度に開始された。 県の制度を利用されている件数は1月時点で260社と聞いている。
会長	それだけ利用されているということは、やはりニーズがあるのだと思う。奨学金を受けている学生としては、かなり大きな補助になるのではないかと思う。また、先ほど委

<p>副会長</p> <p>担当課</p> <p>事務局</p>	<p>員がおっしゃったように、新規採用へのインセンティブになると思うし、面白い取組だと思う。</p> <p>こども園の保育教諭などでは非常勤の人もあるが、この制度の対象は正規雇用の職員のみか。</p> <p>対象は正規職員のみである。</p> <p>3 その他</p> <p>活発な御意見や御質問をいただき感謝申し上げます。 次回は、年度末、年度初ごろの開催を予定している。引き続き御協力をお願いしたい。</p> <p>< 閉会 ></p>
<p>問合せ先</p>	<p>西脇市市長公室政策推進課 TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014</p>